

百味といふ書あり。是りうきういもなり。予見るに、述る所みな等閑のことのミにて覚束なく、豆腐百味には似るべくもあらず」

「百味」は、「百珍」のこと。緒方洪庵は大阪に蘭学塾、適々斎塾（適塾）を開き、多くの逸材を育てた幕末の蘭学者で蘭方医。青菫堂冬圃が、その大学者から『豆腐百珍』を贈られているところが面白い。

彼が『甘藷百珍』をどういうことで読んだのかは分からない。手厳しく批判しているが、幕末の当時も、それが出回っていたことが分かる。なおちょっと気になるのは、青菫堂冬

圃が珍古楼主人を「同郷の人」としていることだ。彼は大阪の生まれだったのだろうか、それとも珍古楼主人が江戸生まれだったのだろうか。

さいきん美容食、健康食ということで、サツマイモの料理法の研究も進んできた。その場合、まず参考にされたのが、200年前に出た『甘藷百珍』だった。

サツマイモの世界には、こうした古典があったので、関係者がどれだけ助かったか分からない。

男 爵 夫 人

元農林水産省
嫗恋馬鈴しょ原原種農場長

秋元 喜弘

「べにはまれ」「はつもみじ」それに「あかね」。

今は昔、わが国で開発された紅茶用茶品種の優雅な名称であるが、ジャガイモにもこれらに劣らない上品な名をいただいている品種が多い。

その代表は男爵（正しくは男爵いも）とメークインであろう。男爵は球形、目が深く、白肉粉質、メークインは長形、目が浅く、淡黄肉粘質、と対照的であるが両者ともわが国を代表する食用の2大品種である。男爵は明治末期に、メークインは大正年間に導入された古い品種であるが、他の多くの品種が太平洋戦争中資材労力不足の折病害などにより衰退

したにもかかわらず、この両品種は生きのびて今日まで新品種の挑戦をしりぞけて王座にすわっている。

さて、日本からみた地球の反対側にバロネーザ（Baronesa）の名をもつジャガイモ品種があるのをご存知の方は少ないであろう。ブラジルの資料には同国原産となっているのであるが、来歴は定かではなく、おそらく欧州からの移民が持ちこんだものと思われる。

彼の国でも赤皮のいもは食用として敬遠されるが、バロネーザは唯一の例外でドイツ・イタリア系移民の多い最南部のリオグランデ・ドスール州でかなり以前からこの品種だけが広く栽培され食用に供されてきた。草丈はそれほど高くなく拡がり、葉はやや大きく草型はきわめてよく、美しい濃紫色の花をひらくものだ。

いもはメークインよりもやや太めの長形、目が浅く、肉は黄色、肉質はややザラザラし

バレイショ増収一〇〇〇問答

■三百回余りの講演で、いも作従事者からいたいた千四百余の質問を整理し、これに回答。基本から植付け、収穫・防除までを解説し、厳しさが加わる現代農家に大きな指針を示す好著。元北大助教授・吉田稔著 定価七〇〇円 送料二五〇円

清薯源流の砦

■現在の種苗管理センターのいも作関係は、昭和二二年に創設された「馬鈴しよ原種農場」がその出発である。各農場の歴史と現況の報告書。いも類振興会編・定価七〇〇円 送料二五〇円

21世紀に向けてのいも作り

■生涯を北海道のバレイショ作に投入した著者快心の著作。その視野は需要者の品質志向から国際競争力まで、イモ作従事者の今後の指針を示す。吉田稔著 定価六〇〇円 送料二五〇円

アンデスから食卓まで

■ジャガイモのふるさとアンデスから出発し、その料理法や品種の特性、栽培から食卓への供給までを、オールカラーで紹介。田中智著へ全改訂 定価五三〇円 送料一七五円

熱帯アジアの馬鈴薯生産

■東南アジアの馬鈴しよ生産の実態を、各国のレポートから翻訳した貴重な資料。わが国馬鈴しよ作に大きな示唆を与える。秋元喜弘著 定価八〇〇円 送料二五〇円

甘しよ・ばれいしよ おいも全書

■斯界の権威による今日のおいも百科。香川綾 監修 定価三五〇〇円 送料四〇〇円

た感があるがフライにすると美味である。表皮は紅丸よりもうすいピンク色であるが肌がなめらかで光沢があり、それこそ貴婦人が化粧をしたように美しい。

Baronesaはポルトガル語で「男爵夫人」の意である。

開拓当初は男性にくらべて女性の数はきわめて少なく、ためにこの地にくわをおろしたヨーロッパ人は美しい肌のいもを見て、遠い祖国の美女にほのかな思いをよせたことであろう。

彼の国でも耐病性（主として対青枯病・夏疫病）をもち栽培容易で品質のすぐれた新品種育成をめざして懸命の努力がつけられているが、主導品種ビンチ（Bintje）をはじめパロネーザを含めた古い品種群を凌駕する画期的なものは、すくなくともこの先数年の間には出現しそうにない。

長年いもにかかわる業務に携ってきた一人としてすぐれた新しい品種が世に出ることを期待すべきであるが、反面「男爵」「男爵夫人」など古きよき品種が表舞台から消えることなく健在であることに安堵を覚えるのも事実である。

いも類振興情報 第30号

平成4年1月15日発行

発行所 財団法人 いも類振興会
東京都港区赤坂6-10-41
ヴィップ赤坂303号室
電話 03-3588-1040
振替・東京3-110152
印刷所 交通印刷株式会社